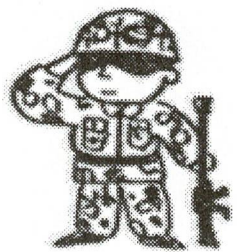


自衛隊への名簿提供はやめるべき！



奥州市議会2月定例会の予算審査特別委員会(2月27日から3月3日まで)において、日本共産党市議団は市民の要求実現に向け、新年度予算案について当局を質しました。その一部概要についてお知らせします。

瀨川貞清議員は、3月3日の市民環境部の予算審査の中で、自衛隊への名簿提供問題について当局の考えを質しました。

2019年の予算審議と6月定例会の一般質問で自衛隊への名簿提供問題を取り上げて来た経過を述べ、当時の当局答弁として「例年6月自衛隊岩手地方協力本部長から、公文書により自衛官および自衛官候補生募集対象者の提供依頼を受けて、市から氏名、住所、生年月日、男女の別の4つの情報を紙媒体で提供している」と答弁している事実を紹介し、「現在もそのような名簿提供を行っているか」「その法的根拠について」質問しました。

個人情報保護条例に抵触するような提供はすべきでない

これに対し、当局は「現在も行っている」と答え、「法的根拠は自衛隊法第97条だ」と答弁。瀨川議員は「自衛隊法97条は、ポスターの掲示や資料の据え置きなどであり個人情報保護条例に抵触するような情報提供はできない」と主張しました。

国会論戦や近隣市町村の動向を踏まえ対応したい…担当部局

これに対し当局は、「県内14市のうち12市で紙媒体で提供している」と答弁。瀨川議員は「2003年の4月23日の衆議院個人情報保護に関する特別委員会において政府参考人が「市町村長に対しての適齢者情報の提供の依頼は、あくまで依頼である」と答弁していることや石破国務大臣も「市町村は、法定受託義務として

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

特養ホームへの待機者603人 早期に入所が必要な方は213人！

これを行っているが、こちらが依頼しても答える義務というものは必ずしもない」と答弁しており、「提供するかどうかは市当局の判断によるものであり、奥州市は提供するべきではない」として重ねて見解を質しました。

市民環境部長は、国会の論戦や近隣市町村の動向を踏まえて適切に対応して参りたい」と述べるにとどまりました。

特別養護老人ホーム入居待機者数

区 分	R4.4.1現在入所申込者		
		うち在宅待機者	
		うち早期に入居が必要な者	
盛岡市	788人	194人	135人
盛岡圏域(盛岡市を含む)	1,422人	326人	214人
奥州市	603人	266人	213人

岩手県保健福祉部長寿社会課提供資料より

特別養護老人ホームは市が責任を持って整備すべき

今野議員は、「有料老人ホームは増えているが、市民の願いは、自分の年金で入ることが出来る特養ホームの整備だ。介護保険というからには保険者である市が責任を持って整備しなければならないのではないかと。早急な対策を」と、強く迫りましたが、当局は具体的な回答はありませんでした。

今野裕文議員は、年金で入れる特別養護老人ホームの整備について取り上げ、奥州市で早期に入所が必要な方が213人に増えたことを指摘しました。(人口が4倍以上ある盛岡圏域とほぼ同数となっています。右表を参照。)

第2子以降の 3歳未満児保育料無料に！

倉成市長は、2月定例会最終日に3歳未満の第2子以降の保育料を無料化する予算案を提出し、可決されました。

現在、3歳以上の保育料は無料。市独自に3歳未満の第3子以降を無料としています。助成拡大は、これまで共産党議員団が繰り返し求めてきたものです。引き続き、全力を尽くします。

